

2018年7月10日

データ作成支援ツール（統合バージョン1.06.00）

リリースノート

chemSHERPA 事務局

1. ツールの機能変更、障害対応

1.1. 成形品データ作成支援ツール/化学品データ作成支援ツール 共通

(1) 小数点の区切り文字、時刻の区切り文字の差異への対応

小数点として認識する文字はピリオド固定となっていましたが、ツールを使用している Windows の設定に合わせた文字を認識するように改善しました。

また、時刻の区切り文字についても同様に Windows の設定に合わせるよう改善しました。

1.2. 成形品データ作成支援ツール

(1) 製品部品の質量と材質質量合計の差異のチェック仕様の変更

これまで成分情報画面にて、材質の「質量」の合計値が、基本情報画面の「質量」を超えている場合、エラーとしていましたが、以下のように変更しました。

材質質量の合計	アラートのレベル
製品部品質量の 110%超	エラー
製品部品質量の 100%を超え 110%以下	警告
製品部品質量の 90%以上 100%以下	正常
製品部品質量の 90%未満	警告

(2) JGPSSI からのコンバート仕様の変更

正コンバート時、JGPSSI の使用用途に対し、chemSHERPA で割りあてられる使

用用途が、1 対多になる場合、対応するすべての使用用途に割りてるように変更しました。なお、2018-05-09 に HP 上でお知らせした、chemSHERPA1.05.00a で変換が行われない一部使用用途については、変換が行われるように修正しました。

(3) 出力（承認時）のエラーチェックの修正

AIS コンバート取込み後、特定の操作を行った場合、エリアの「IEC62474」にチェックが入っているにもかかわらず、遵法判断情報が無いまま正規ファイルが出力されてしまう問題を修正しました。

(4) 遵法判断情報画面での制御変更

遵法判断情報画面にて、遵法判断が確定されている場合でも、一部項目へ入力がおこなえる不具合を修正しました。

(5) 材質リストの「N498:その他無機化合物」の英語名を修正しました。

ツールの言語設定が英語名の場合の N498 の材質名を修正しました。

(6) 「成分→遵法判断変換」機能で使用する特定元素への換算係数の一部変更

「成分→遵法判断変換」で特定の元素の含有濃度を計算する際の換算係数について、構造が不定の物質については換算係数を一律 1.0 としていましたが、最大の換算係数が決められる場合は、最大値を利用することに変更しました。換算係数は、「成分→遵法判断変換」時のログファイルに出力されますので、必要に応じてご確認ください。

1.3. 化学品データ作成支援ツール

(1) 帳票出力時の物質名の言語設定の変更

帳票出力における物質名は、ツールの言語設定によらず、英語で出力するよう変更しました。

2. IEC62474 エリアの情報更新

IEC62474 の対象物質リストのバージョン D16.0 に対応しました。主な変更点は以下の通りです。

- (1) 下記 8 物質が追加されました。

報告 ID	物質名	報告用途	報告閾値
00148	Benzo[ghi]perylene	All	0.1 mass% of article
00149	Octamethylcyclotetrasiloxane	All	0.1 mass% of article
00150	Decamethylcyclopentasiloxane	All	0.1 mass% of article
00151	Dodecamethylcyclohexasiloxane	All	0.1 mass% of article
00152	Disodium octaborate	All	0.1 mass% of article
00153	Terphenyl, hydrogenated	All	0.1 mass% of article
00154	Lead	All	0.1 mass% of article
00139	Dicyclohexyl phthalate	All	0.1 mass% of article

- (2) 下記 1 物質が削除されました。

報告 ID	物質名	報告用途	報告閾値
00127	Benzenamine, N-phenyl-, reaction products with styrene and 2,4,4-trimethylpentene	All	Intentionally added

3. 用途リスト更新

用途リストを更新し、用途リストのバージョンを Ver1.05.00 としました。更新内容は以下の通りです。

3.1. ELV 適用除外の改訂

- (EU) 2017/2096 に基づき、鉛に関する適用除外項目 2(c)を 2(c)(i)に変更し、2(c)(ii)を追加しました。
- (EU) 2017/2096 に基づき、鉛に関する適用除外項目 5(a)5(b)を追加し、5 の期限を変更しました。

3.2. RoHS 適用除外の改訂

- (EU) 2017/1975 に基づき、カドミウムに関する適用除外項目 39(a)を追加しました。
- (EU) 2018/736 に基づき、鉛に関する適用除外項目 7(c)-I の期限を変更しました。
- (EU) 2018/737 に基づき、鉛に関する適用除外項目 24 の期限を変更しました。
- (EU) 2018/738 に基づき、鉛に関する適用除外項目 34 の期限を変更しました。
- (EU) 2018/739 に基づき、鉛に関する適用除外項目 6(a)-I を追加し、6(a)の期限を変更しました。
- (EU) 2018/740 に基づき、鉛に関する適用除外項目 6(b)-I, 6(b)-II を追加し、6(b)の期限を変更しました。
- (EU) 2018/741 に基づき、鉛に関する適用除外項目 6(c)の期限を変更しました。
- (EU) 2018/742 に基づき、鉛に関する適用除外項目 7(a)の期限を変更しました。

4. 留意事項

4.1. 成形品ツール

(1) RoHS 適用除外コード 13(b)について

(EU) 2017/1009 にて、RoHS Annex III の適用除外 13(b)は、下記に置き換えられました。

13(b)	Cadmium and lead in filter glasses and glasses used for reflectance standards	Applies to categories 8, 9 and 11; expires on: — 21 July 2023 for category 8 in vitro diagnostic medical devices; — 21 July 2024 for category 9 industrial monitoring and control instruments and for category 11; — 21 July 2021 for other subcategories of categories 8 and 9
13(b)-(I)	Lead in ion coloured optical filter glass types	Applies to categories 1 to 7 and 10; expires on 21 July 2021 for categories 1 to 7 and 10'
13(b)-(II)	Cadmium in striking optical filter glass types; excluding applications falling under point 39 of this Annex	
13(b)-(III)	Cadmium and lead in glazes used for reflectance standards	

このうち、「13(b):フィルタガラスおよび反射率標準用ガラス中のカドミウムおよび鉛」について、カテゴリー8 や 9 においてのみ期限が延長されています。しかし chemSHERPA では、ツールの仕様上、複数の期限を設定することができないため、13(b)の期限として 2018 年 7 月 5 日（カテゴリー1-7、10 の期限）を設定しています。7 月 6 日以降、当該適用除外（13(b)のカテゴリー8,9 のみ有効）を選択したい場合は、「期限外」の適用除外用途から選択してください。カテゴリ 8,9 以外で当該適用除外を報告していた方は、13(b)-(I)~13(b)-(III)（2018 年 7 月 6 日が発効日）への変更をご検討ください（これらに該当しない場合は、有効な適用除外用途ではなくなりますのでご注意ください）。

(2)成分→遵法判断情報変換の限界

成形品ツールの成分→遵法判断情報変換機能では、成分情報から報告閾値以上かどうかを判定し、報告閾値未満の場合は、含有判定に「N」が、報告閾値以上の場合は含有判定に「EntryY」が設定されます。また、「EntryY」の場合には、合わせて含有率や含有量なども設定されます。

しかしながら、下記の4つのケースは、報告閾値による含有判定を自動的に行うことが難しいため、成分情報に当該物質が報告されていれば、含有判定 = 「EntryY」を設定し、含有率や含有量は空白の状態となります。

ID	物質(群) 名	報告用途	報告閾値	報告閾値による含有判定を自動的に行うことが難しい理由
00008	臭素系難燃剤 (PBB 類、PBDE 類 および HBCDD を除く)	積層プリント配線基板	基板中の臭素の含有合計で 0.09 重量% (900ppm) [報告レベル：材料]	[報告レベル：材料] について、その意味するところは「均質材料」ではなく、「最終的な表面処理、構成を除いた積層体の材料」であるため・
00063	塩素系難燃剤 (CFR)	積層プリント配線基板	基板中塩素の含有合計で 0.09 重量% (900ppm) [報告レベル：材料]	
00103	ペルフルオロオクタン酸 (PFOA) と個々の塩及び PFOA のエステル	織物および、フィルムまたは紙または印刷用原版用の写真コーティングおよびその他のコートされた消費者製品	1µg/m2(PFOA の合計として) [報告レベル：材料]]	閾値の単位が特殊であるため。
00124	パーフルオロオクタンスルホン酸塩(PFOS)	織物またはその他のコートされた材料	意図的添加またはコートされた材料の 1µg/m2 [報告レベル：材料]	

上記のケースで、含有判定 = 「EntryY」となった場合、まず報告用途に該当するか確認し、該当しなければ含有判定を「N」にしてください。報告用途に該当する場合は、含有率を計算し、報告閾値以上の場合は、「Y」に（報告閾値未満の場合は「N」に）してください。

5. 本ツールの起動可能期限

本ツールの起動可能期限は、2019 年 8 月 31 日です。9 月 1 日以降は、ツールが起動出来なくなります。

chemSHERPA では、管理対象物質リストを定期的に更新しており、管理対象物質リストが更新された際は、これをツールに組み込んで配布しています。また、そのタイミングで、必要に応じて適用除外リストの更新やツールの機能改善、不具合修正を行っています。古いリストやツールの継続利用を防止するため、ツールには使用期限を設けております。

物質リスト更新時は、更新された物質リストを搭載したツールをあらためてダウンロードしてお使いください。